PROFILE

人物白書

vol. 03

氏名 大間（おおま） 琴絵（ことえ）

所属部署 東京営業所

担当エリア 神奈川県

【座右の銘】
感謝の気持ちを忘れない
感謝の気持ちを持つことと、
感謝を伝えることが、どんな場面でも
より良い関係を作ると考えています。

【出身地】
神奈川県

【趣味】
クラリネット

【好きなもの】
美味しい
ご飯とお酒

【嫌いなもの】
雷

【長所・ウリ】
丁寧な対応

Message

お客さまへのメッセージ

物流のお困りごとがありましたら、
ご一緒に最適案を考えます！
どうぞお気軽に
お問い合わせください。

お客さまに言われて嬉しかった一言

“一番反応が良かったから、JPRに頼んだよ”

お客さまから日々さまざまなご依頼を頂きますが、
やはり現場からの物流機器のご依頼は、緊急性が高いものが多いと感じています。
その中で、できるだけ早いレスポンスと丁寧な対応を心がけているので、
ご成約いただき、このお言葉を頂戴したときはうれしく思いました。

FOCUS 商品・サービスインフォメーション

03 カラフルパレット

全8色が1枚から

用途に合わせた2タイプ

軽量化と高剛性を両立。新設計の
フラットタイプ

より軽量で扱いやすい。手軽で便利な
メッシュタイプ

column 色別管理で識別上手

二方差しと四方差し。片面と両面。取り回し重視の軽量タイプから、頑丈堅固の重量タイプまで。一口にプラスチックパレットと言っても、同じサイズでさまざまな仕様がありますよね。カラフルパレットは、そんなプラスチックパレットに「色」の考え方を取り入れてみました。例えば、今お使いのパレットに加えて「警戒色のパレット」を+αで導入。再検査品や不具合品などの積載に使用すれば、作業効率や出荷品質のさらなる向上につながります。特注色のパレットを作ることもできますが、ロットがまとまらないと難しいもの。カラフルパレットなら、レッド・オレンジ・イエロー・パープル・ブルー・グリーン・ピンク・グレーの8色が標準ラインナップ。1枚からご注文が可能です！ フラットタイプとメッシュタイプの2種類をご用意しております。色見本もございますので、お気軽にお問い合わせください。

JPR 日本パレットレンタル株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル URL www.jpr.co.jp e-mail service@jpr.co.jp

最新情報など詳しくはwebから!
日本パレットレンタル

発行/2018年11月9日 編集/日本パレットレンタル株式会社 制作・印刷/DNP 大日本印刷株式会社

お客さまとJPRをつなぐ情報誌

月刊 JPR

VOL.03
2018.Nov

モノの流れと情報を見える化する。

JPR SPOT LIGHT

ミールカートの在庫と状態を見える化 新規購入数の15%削減を目指す！

航空機材株式会社は、日本航空株式会社をはじめとする航空各社の航空機へ搭載する機用品の管理・修繕を行う企業だ。航空会社とともに、高価なミールカートの管理には長年苦慮していたが、JPRの「Logiarx」を導入したことにより、大幅な効率化・省力化を実現した。その活用の効果と今後への期待を航空機材の井出氏、平山氏、小川氏、日本航空の藤尾氏と小倉氏、に聞いた。

JALのミールカートの修理整備を一手に担う

航空機材株式会社は、もともと航空機のウィンドウ修理を担う会社として設立した。その後、客室装備品の修理を行うようになり、今年で50年を迎える歴史ある企業だ。

日本航空株式会社からは成田・羽田・関西国際空港の拠点における客室機材の管理と、機内食提供の際に使用されるミールカートの修理整備を一手に任されている。一度出荷されたミールカートは、10台あれば10台とも異なる動きをする。早いものは1ヵ月で修理が必要となることも。それを滞りなく、修繕し現場へ届けるのが航空機材の役割だ。

日本航空株式会社
商品・サービス企画本部 開発部
機内食オペレーション室
機用品管理グループ グループ長
藤尾 智宏 様
Fujio Tomohiro

日本航空株式会社
商品・サービス企画本部 開発部
機内食オペレーション室
機用品管理グループ
小倉 美文 様
Ogura Yoshibumi

「Logiarx」により、ミールカート管理の課題解決に挑む

長年の実績を持つ航空機材だが、大量のミールカートの管理の煩雑化に課題を感じていた。井出氏は、「月間で、600台前後のメンテナンス発注をいただいています。特に、飛行機を利用するお客様が多い、お盆時期や長期連休、夏休みなどの前後は繁忙期となります。旅行者が増える前にミールカートを納品し、旅行ピーク期が終わると一気に戻ってくる。こうした、大量のミールカートの在庫管理、修理、整備履歴管理やそれに伴う請求業務などは、これまですべて手入力で行ってきました。そのため、データ作成に時間がかかり、リアルタイムでの把握ができませんでした。ヒューマンエラーも発生している状況でした」と振り返る。

ミールカートの管理は日本航空でも20年ほど前から課題とされてきたものの、コスト面の問題からシステム化できずにいた。そんな中、2016年にJPRの物流機器個体管理システム「Logiarx」（ロジアークス）と出会う。「Logiarx」はクラウド型で、サーバ購入および構築費・システム開発などの初期費用やディスクやメモリー増強等のメンテナンス費、そして、それに係る人件費を抑制することができる。また、ステータス情報を登録でき、1つの画面で現状把握が可能だ。ミールカートへQRコードなどを貼付し、Internet Explorerが利用できる環境であれば、どこでも閲覧できる。藤尾氏は、課題の解決とコスト面でのメリットを感じ、「Logiarx」の導入を決断した。

業務省力化とコストの削減、「Logiarx」導入の成果

「Logiarx」を導入して感じたメリットを、小倉氏はこう語る。「個体管理が可能となったので、大変な作業だった在庫管理や棚卸しが不要となり、リアルタイムで在庫状況を把握することができるようになりました。ミスや漏れがなくなり、正確性も実現。省力化を図れたことは大きなメリットです」

加えて、整備関連業務においても、「入出荷で読み取られたデータを活用することで、請求に係わる入力が不要になったことも大きな成果でした。より本質的な業務に時間を割けるようになったと感じています」と平山氏は続けた。

日本航空は、ミールカートの台数をリアルタイムに正確に把握できるようになったため、余剰在庫をなくし、余計なカートを新規購入することもなくなった。結果として、ミールカートの購入台数を15%分も減らす見込みで、コスト削減に繋がることを期待する。

航空機材は、顧客との取引にもメリットがあったという。「これまで手作業とペーパーワークで行っていたものを、許可権限を共有し日本航空様とシステム上で同じデータを閲覧できるようになりました。これにより、正確でタイムリーな情報提供が可能になり、プレゼンスの向上へとつながっています」と、小川氏は手応えを感じている。

航空機材株式会社
常務取締役
井出 成俊 様
Ide Masatoshi

航空機材株式会社
整備業務室
小川 華奈子 様
Ogawa Kanako

現在、QRコードの貼付は保有する2万台のミールカートのうち77%にとどまっている。最終的には98%以上のミールカートに貼付し、完全な見える化の実現を目指している。これにより、作業効率はさらに加速度的にアップするだろう。また、年に2回設けられている棚卸しにこれまでは、2名×2日間の時間を要していたが、リアルタイムで在庫数を把握できるようになったので、工数を大幅に削減できることが予測されている。

最後に、藤尾氏はJPRへの期待をこう語った。「今回はミールカートの管理についての課題解決でしたが、いずれは食器やブランケットに至るまですべての機用品を個体管理する未来を実現してほしい。私たちが関わる機用品は、海外にまで運ばれていくものなので、正確な個数把握が困難です。そのような課題を、『Logiarx』を横展開していくことでどんどん解決していく。『ジャパン』パレットレンタルではなく、『ワールド』パレットレンタルとして、グローバルなインターフェースとなっていただくことを期待しています」

航空機材株式会社
整備業務室
室長
平山 栄 様
Hirayama Hisashi

Logiarx

モノの流れと情報を一体化するクラウド型個体管理システム
【ロジアークス】

Logiarxは、モノの流れと情報を一体化するクラウド型個体管理システムです。物流容器などの企業資産のスムーズな管理、紛失防止によるコスト削減に寄与します。また、蓄積した個体データを活用し、データの詳細分析や運用診断のご提案も可能です。

Next 次号は、「流通における返品問題」について考察する予定です。お楽しみに！！